



平成26年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年8月6日 東

上場会社名 ミヨシ油脂株式会社 上場取引所
 コード番号 4404 URL <http://www.miyoshi-yushi.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 堀尾 容造
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員経理部長 (氏名) 山下 史生 (TEL) 03-3603-1149
 四半期報告書提出予定日 平成26年8月8日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年12月期第2四半期の連結業績 (平成26年1月1日～平成26年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年12月期第2四半期	22,470	3.5	85	△87.1	234	△66.8	116	△75.8
25年12月期第2四半期	21,707	△3.3	662	6.6	705	11.4	480	135.8

(注) 包括利益 26年12月期第2四半期 2百万円(△99.8%) 25年12月期第2四半期 1,105百万円(198.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年12月期第2四半期	1.13	—
25年12月期第2四半期	4.67	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年12月期第2四半期	43,639	20,248	46.3
25年12月期	44,318	20,555	46.3

(参考) 自己資本 26年12月期第2四半期 20,224百万円 25年12月期 20,529百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年12月期	—	—	—	3.00	3.00
26年12月期	—	—	—	—	—
26年12月期(予想)	—	—	—	3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年12月期の連結業績予想 (平成26年1月1日～平成26年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	45,100	2.7	650	△16.6	820	4.3	470	△8.6	4.56

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年12月期2Q	103,068,954株	25年12月期	103,068,954株
② 期末自己株式数	26年12月期2Q	87,018株	25年12月期	85,965株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年12月期2Q	102,982,813株	25年12月期2Q	102,984,968株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ

「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（平成26年1月1日～平成26年6月30日）における我が国経済は、政府および日銀による経済金融政策を背景に企業収益が改善する等、景気は緩やかな回復基調で推移したものの、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動や海外景気の下振れリスクが懸念され、先行き不透明な状況で推移いたしました。

当油脂加工業界におきましては、円安の影響により各種原材料価格は上昇しておりますが、依然として大手流通の低価格志向は根強いいため非常に厳しい環境で推移いたしました。

このような状況のなかで当社グループは、市場ニーズを的確に捉えた製品開発と販売活動を継続するとともに生産体制の効率化とコスト削減等の業務改善活動を推し進め、収益の確保に努めましたが、原材料価格の上昇に加えてユーティリティ費用等の上昇を吸収するには至りませんでした。

この結果、売上高は224億7千万円（前年同期比3.5%増）、営業利益は8千5百万円（前年同期比87.1%減）、経常利益は2億3千4百万円（前年同期比66.8%減）、四半期純利益は1億1千6百万円（前年同期比75.8%減）となりました。

セグメントの業績は以下のとおりであります。

① 食品事業

食品事業につきましては、消費の伸び悩みと低価格志向が継続するなか、主要需要先である製パン業界、製菓業界、即席麺業界向けにマーガリン、ショートニング等の主力製品の拡販に注力するとともに、新しい乳化技術を利用した新製品の拡販ならびに粉末油脂の新規市場開拓にも努めた結果、売上高は前年同期を上回りましたが、営業利益につきましては、各種原材料価格等の上昇により、前年同期を大きく下回りました。

その結果、売上高は160億4千1百万円（前年同期比2.5%増）、営業利益は2億3千5百万円（前年同期比58.8%減）となりました。

② 油化事業

工業用油脂製品につきましては、輸出産業の復調を受け、ゴム、潤滑油業界等への脂肪酸やグリセリンの販売が伸長いたしました。界面活性剤製品につきましても、紙・パルプ分野において家庭紙用薬剤が好調に推移し、化粧品分野においても化粧品原料基剤の販売が堅調に推移するなど売上高は前年同期を上回りました。しかしながら、営業利益につきましては、競合品対応に加えて油脂原料価格および石化原料価格の上昇により厳しい結果となりました。

その結果、売上高は63億3千1百万円（前年同期比6.4%増）、営業損失は1億8千3百万円（前年同期は営業利益6千4百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ6億7千9百万円減の436億3千9百万円となりました。主な増加は原材料及び貯蔵品6億3千9百万円であり、主な減少は現金及び預金3億4千3百万円、受取手形及び売掛金7億3千万円、投資有価証券1億5千5百万円でありま

す。
負債は、前連結会計年度末に比べ3億7千2百万円減の233億9千万円となりました。主な増加は有利子負債（リース債務含む。）5億9千9百万円であり、主な減少は支払手形及び買掛金9億2千1百万円であります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ3億6百万円減の202億4千8百万円となりました。主な減少は利益剰余金1億9千2百万円、その他有価証券評価差額金1億1千2百万円であります。

この結果、当第2四半期連結会計期間末の自己資本比率は、前連結会計年度末と同様46.3%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年12月期の業績予想につきましては、平成26年2月13日に公表いたしました通期の連結業績予想を変更いたしました。詳細につきましては本日公表の「平成26年12月期 第2四半期累計期間業績予想と実績との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,598	4,254
受取手形及び売掛金	12,450	11,719
商品及び製品	2,243	2,163
仕掛品	514	550
原材料及び貯蔵品	1,773	2,413
その他	456	560
貸倒引当金	△13	△11
流動資産合計	22,022	21,650
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,300	4,184
機械装置及び運搬具(純額)	3,493	3,453
土地	5,327	5,327
その他(純額)	556	627
有形固定資産合計	13,677	13,591
無形固定資産		
その他	195	189
無形固定資産合計	195	189
投資その他の資産		
投資有価証券	7,379	7,223
その他	1,085	1,026
貸倒引当金	△42	△43
投資その他の資産合計	8,422	8,207
固定資産合計	22,295	21,988
資産合計	44,318	43,639

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,585	8,663
短期借入金	2,975	5,175
1年内返済予定の長期借入金	4,802	392
未払法人税等	103	44
その他の引当金	7	7
その他	1,884	2,161
流動負債合計	19,357	16,445
固定負債		
長期借入金	843	3,651
退職給付引当金	2,810	2,577
役員退職慰労引当金	528	481
その他	222	234
固定負債合計	4,405	6,945
負債合計	23,762	23,390
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,015	9,015
資本剰余金	5,492	5,492
利益剰余金	4,698	4,505
自己株式	△23	△23
株主資本合計	19,181	18,989
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,347	1,235
その他の包括利益累計額合計	1,347	1,235
少数株主持分	25	24
純資産合計	20,555	20,248
負債純資産合計	44,318	43,639

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)
売上高	21,707	22,470
売上原価	18,041	19,379
売上総利益	3,666	3,091
販売費及び一般管理費	3,003	3,006
営業利益	662	85
営業外収益		
受取利息	2	2
受取配当金	85	168
持分法による投資利益	27	30
その他	65	51
営業外収益合計	180	252
営業外費用		
支払利息	119	87
その他	18	16
営業外費用合計	137	103
経常利益	705	234
特別利益		
投資有価証券売却益	91	-
その他	0	-
特別利益合計	92	-
特別損失		
有形固定資産除却損	32	30
特別損失合計	32	30
税金等調整前四半期純利益	765	204
法人税、住民税及び事業税	58	12
法人税等調整額	225	77
法人税等合計	284	89
少数株主損益調整前四半期純利益	480	114
少数株主損失(△)	△0	△1
四半期純利益	480	116

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	480	114
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	621	△112
持分法適用会社に対する持分相当額	2	0
その他の包括利益合計	624	△112
四半期包括利益	1,105	2
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,105	3
少数株主に係る四半期包括利益	△0	△1

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	765	204
減価償却費	670	681
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△86	△232
受取利息及び受取配当金	△87	△170
支払利息	119	87
持分法による投資損益(△は益)	△27	△30
投資有価証券売却損益(△は益)	△91	-
売上債権の増減額(△は増加)	221	730
たな卸資産の増減額(△は増加)	△187	△596
仕入債務の増減額(△は減少)	△179	△921
その他	410	170
小計	1,526	△77
利息及び配当金の受取額	116	182
利息の支払額	△119	△88
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	40	△77
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,563	△60
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の売却による収入	254	1
有形固定資産の取得による支出	△646	△528
その他	△25	△40
投資活動によるキャッシュ・フロー	△417	△567
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	-	2,200
長期借入れによる収入	-	3,000
長期借入金の返済による支出	△605	△4,601
自己株式の純増減額(△は増加)	△0	△0
配当金の支払額	△309	△309
その他	△4	△4
財務活動によるキャッシュ・フロー	△919	284
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	226	△343
現金及び現金同等物の期首残高	4,867	4,598
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,093	4,254

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成25年1月1日 至 平成25年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	食品事業	油化事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	15,644	5,952	21,596	111	21,707	—	21,707
セグメント間の内部売上高 又は振替高	55	—	55	70	125	△125	—
計	15,699	5,952	21,651	181	21,833	△125	21,707
セグメント利益	571	64	636	26	662	—	662

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸、原料油脂等を含んでおります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成26年1月1日 至 平成26年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	食品事業	油化事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	16,041	6,331	22,372	97	22,470	—	22,470
セグメント間の内部売上高 又は振替高	55	—	55	71	127	△127	—
計	16,097	6,331	22,428	169	22,598	△127	22,470
セグメント利益 又はセグメント損失(△)	235	△183	52	32	85	—	85

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸、原料油脂等を含んでおります。

2 セグメント利益又はセグメント損失(△)の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。